

～平成26年8月6日の時間100mmを超える岩国・和木豪雨による被災と復旧状況～

山口県東部を襲った記録的豪雨で、平成26年8月6日6時頃岩国市内の国道2号では、土砂崩落や流出による通行止めが発生しました。翌日7日の早朝にはすべて土砂撤去や応急復旧を行い通行可能となりました。このうち、国道2号岩国市多田（岩国IC入口交差点）から杭名（錦橋交差点）の4.7Km間については、「時間雨量30mm・連続雨量100mm」を超えると、安全を確保するために通行止め規制を行うこととしています。ご迷惑をお掛けしますが、ご理解と御協力をお願いします。



土砂災害の発生状況の把握と今後の技術指導を行うため国土交通省国土技術政策総合研究所が土砂災害の専門家を派遣。中国地方整備局のTEC-FORCEも同行し現地調査を行いました。調査結果は、基盤の岩石が露出している状態で、少量の雨でも土砂が流出する可能性があり注意が必要との意見があり、この調査結果を踏まえて、土砂が流れ出すのを防ぐため大型土嚢を設置しました。

RIVARO[リバロ]とは

RIVer And ROad(川と道路)の頭文字。
山口河川国道事務所の川づくり、道づくりをイメージしてネーミングしました。
皆さまに親しまれる地域づくりを目指して日々頑張りますので、よろしくお願ひします。
山口河川国道事務所のホームページにも掲載しています。

お問い合わせ：山口河川国道事務所 計画課
0835-22-1819
山口河川国道事務所ホームページ：
<http://www.cgr.mlit.go.jp/yamaguchi/>

